



【静岡支局】三島市で繁殖和牛38頭と子牛20頭を飼育する鈴木政行さん(70)、和子さん(70)夫妻を訪ねました。

◇ 心がけていることや工夫していることは？
政行さん 牛の血統を意識しています。和牛肥育農

おじゃまします ノーサイくんです

家の求める牛作りには、情報収集が必要で市場や枝肉共進会に重点を置いていきます。また、親牛の年1産を目標に、分娩後1週間での早期離乳を徹底し、分娩間隔と発情の回復を早めます。

和子さん 牛の分娩に注意しています。良い種を付けても逆子などのリスクが伴います。失敗すると経費高騰と市場の相場が良くないことも相まって経営に影響してしまうためです。

Q 苦労していることは？
政行さん 気候変動で

鈴木 政行さん、和子さん 静岡県三島市 肥育農家が求める和子牛を

す。経費削減のために牧草栽培、稲わら収集、堆肥販売を行っています。牧草を始めた20年前は10人で作業していました。現在は1人で14畝を管理しています。猛暑や長雨などの影響があると、計画通りに作業できず収集を諦めることもあります。

Q お互いに一言。

政行さん お互い健康に気を付けて一日でも長く仕事をしましょう。

和子さん 健康でいましょう。今まで忙しくできなかった旅行を、年2回くらいはしたいです。(前田)